



知ってる? おかやまの森のこと



VOL.4 整理・整とんで、森林は元気に!

県内の森林の約40%は、ヒノキやスギなどの人工林。家や家具などに使う木材を生産するため植えられたものですが、利用できる大きさになるまでには40年以上もかかります。

その間、苗木が育つのをじゃまする雑草の「下刈り」や、大きくなって枝が重なり混み合った木を切って、森林の

中に日光を当たりやすくする「間伐」など、木の成長に応じた手入れが、年月をかけ、くり返し行われます。

森林を整理・整とんし、自然の力を活かして木材を生産する林業は、元気な森林を守り育てる作業を通じて、私たちの安全で快適な暮らしにも大切な役割を果たしています。



手入れの行き届いた人工林は明るく気持ちが良い



岡山県マスコット ももっち

今や国民病とまでいわれる花粉症。原因の一つとされるスギ花粉は、木を植えて30年以上経つと大量に飛散するそうです。県内においても、戦後まもなく植えられたものが多く、花粉の少ない品種等への植え替えに向けた取組が始まっています。

おかやま森づくり県民税は、岡山の森林を守り育てるために活用されています。

おかやま森づくり県民税

検索

岡山県農林水産部林政課